

持続可能な社会に向けて意識の変革を

取締役 営業本部長・営業本部東京営業所長 富嶋 公明



昨年は8月に原油が高騰し、ガソリン価格が史上最高値の185円台まで上昇し、国民生活に大きな影響を与えました。9月には米国の金融危機が世界中を駆け巡り、実体経済に大きな影響を及ぼし、世界同時不況に陥りました。また今年4月にはメキシコで新型インフルエンザが発生し、感染拡大が瞬間に世界に広がりました。世界保健機関（WHO）はすでに警戒水準を「フェーズ6」に引き上げており、世界的大流行（パンデミック）のリスクを直接受けています。世界は同じ環境下にいる運命共同体であり、急速に相互依存を強めています。地球のどこかで何かが起これば、直接、間接的に自分たちが影響を大きく受ける可能性が高まっている事を実感させられました。

また年明けの1月にはチェンジ（変革）の掛け声と共に、バラク・オバマ氏が黒人として初めて米国大統領に就任しました。地球温暖化防止の先頭に立ちグリーンニューディール政策で産業と雇用を創出する等、従来とは違った変革の政策を推進しており、新しい時代へ世界を導く第一歩を踏み出しました。

オバマ大統領の「チェンジ」で現在の閉塞感を打破して欲しいと世界が期

待している様に、世界も今大きく変わろうとしています。100年に一度の世界不況に入っており、従来の高度成長路線の延長ではもはや立ち行かなくなっています。石油問題やパンデミック問題、地球温暖化等の地球規模の危機が身近に感じられた事もあり、持続可能な（サステナビリティの）社会へのパラダイムシフトが起きています。

米国のデニス・メドウ博士はその持続可能な社会の実現に向けて、30数年前から「成長の限界」という本を通じ警鐘を鳴らし続けていました。その博士が今年の日本国際賞に選ばれた事は新しい時代に入った事の象徴的な意味合いを感じます。数百万年かけて蓄積したエネルギー等の資源を、世界は持続可能なレベルを超えて使い切っており、深刻な危機が続いていると警告しています。「サステナビリティ」とはまずは企業が持続可能な企業となって社会に貢献する事がベースにある事、そして技術の進歩がそれをもたらす訳ではなく、人間の意識・態度の影響が大きいとも言っています。個人の意識を「チェンジ」する事がいかに重要かということです。

「チェンジ」という事では人を構成している分子（アントロピーの増大した分子）は、常に高速で分解され、食物として摂取した分子に更新され続けています。分子レベルでは私たちは常に「チェンジ」しており、これを繰り返すことによってアントロピーの法則に有限の期間、打ち勝つことができると分子生物学者の福岡伸一教授は著書「動的平衡」等ですべては分析にはじまる」の経営理念を通じて持続可能な（サステナビリティな）企業を目指して来ました。事業のプロセスを重視し、受託営業、分析設計、分析業務、解析、報告等の一連の価値の流れの効率改善を図り、サービスの顧客価値を高めて来ました。その中で利害関係者を含めたお互いの利益を高める様々な連携の道を探ることが、長い目で見た場合、持続可能な社会の実現に近づく道であると考えています。デニス・メドウ博士が危惧する人の意識課題については、福岡教授の言葉ではありませんが、人を含めた生命体は分子レベルで常に「チェンジ」しており、意識も「チェンジ」の必然の宿命を持っていると信じています。まずは効率改善の基本である「ムダを省く」という事から少しずつ「チェンジ」していきましょう。

返すことによってアントロピーの法則に有限の期間、打ち勝つことができると分子生物学者の福岡伸一教授は著書「動的平衡」等ですべては分析にはじまる」の経営理念を通じて持続可能な（サステナビリティな）企業を目指して来ました。事業のプロセスを重視し、受託営業、分析設計、分析業務、解析、報告等の一連の価値の流れの効率改善を図り、サービスの顧客価値を高めて来ました。その中で利害関係者を含めたお互いの利益を高める様々な連携の道を探ることが、長い目で見た場合、持続可能な社会の実現に近づく道であると考えています。デニス・メドウ博士が危惧する人の意識課題については、福岡教授の言葉ではありませんが、人を含めた生命体は分子レベルで常に「チェンジ」しており、意識も「チェンジ」の必然の宿命を持っていると信じています。まずは効率改善の基本である「ムダを省く」という事から少しずつ「チェンジ」していきましょう。

た分析技術の重要性・新展開」について最近の話題や技術についてご紹介いただきました。その他、関連テーマの技術報告、SCAS NOW、トピックス、法律ウォッチャー等もご紹介させていただきました。今後も、お客様のご期待に応えられるよう当社の最新分析技術情報を提供してまいりますので、ご愛読のほどよろしくお願ひ申し上げます。 MS

編 集 後 記

SCAS NEWS 2009-II号をお届けいたします。今回は、電子・エネルギー・材料をテーマとして巻頭言に、金沢大学理工研究域自然システム学系教授、大谷吉生先生に「エアフィルタによるナノ粒子の分級捕集」と題して示唆に富む提言を賜りました。また上智大学理工学部機能創造理工学科教授、高井健一先生には「金属材料の水素脆性克服に向け

た分析技術の重要性・新展開」について最近の話題や技術についてご紹介いただきました。その他、関連テーマの技術報告、SCAS NOW、トピックス、法律ウォッチャー等もご紹介させていただきました。今後も、お客様のご期待に応えられるよう当社の最新分析技術情報を提供してまいりますので、ご愛読のほどよろしくお願ひ申し上げます。 MS

編集・発行 株式会社住化分析センター 発行日 2009.8.28 2009-II (通巻30号)
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-17 TEL06-6202-1807 FAX06-6202-0116
ホームページ <http://www.scas.co.jp> E-mail: webmaster@scas.co.jp



千葉事業所と愛媛事業所は、ISO/IEC17025に基づく認定事業所で、環境分野や化学、電子工業製品分野などにおける特定項目の認定を受けております。
千葉事業所の認定番号：JCLA1
愛媛事業所の認定番号：JCLA5

当社事業所はISO9001およびISO14001の審査登録も受けています。

千葉・筑波事業所：JQA-1105/OIER-171
大阪・岡山事業所：JQA-1814
愛媛事業所：JCQA-0253/JCQA-E-0465
大分事業所：JQA-QM3707/JQA-EM2093
ファーマ事業所：医薬品GLP
大阪事業所：農業GLP

はインシュタインの疑問符です。彼のあくなき好奇心と探求心こそが、宇宙真理発見の原動力だったのかも知れません。

SCAS Sumika Chemical Analysis Service

東京営業所（本館）	TEL 03-3257-7201	大阪事業所	TEL 06-6466-5247
東京営業所（別館）	TEL 03-5259-5961	筑波事業所	TEL 029-864-4741
大阪営業所	TEL 06-6202-1000	医薬事業本部	TEL 06-6466-6426
名古屋営業所	TEL 052-952-8969	医薬事業本部	TEL 097-523-1964
医薬事業本部	TEL 03-5259-5964	ファーマ大分事業所	TEL 0438-63-6176
医薬事業本部	TEL 06-6202-1801	技術開発センター	TEL 06-6466-5251
千葉営業部	TEL 0438-64-2281	医薬事業本部	TEL 03-3257-7208
岡山営業部	TEL 086-477-8103	SCAS SINGAPORE PTE LTD	TEL 65-6899-3819
愛媛営業部	TEL 0897-32-3411	住化分析技術（上海）有限公司	TEL 86-21-5677-8181
大分営業部	TEL 097-523-1181	SCAS Europe S.A./N.V.	TEL 32-2-255-76-73